

## 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

### 1. アクティブ・ラーニング型講義の実施

講義形態にグループワークを中心としたアクティブ・ラーニング型を多く取り入れ、教壇から一方的に教授するだけでなく、学生たち自身で問題提起し、考察から解決に至るまで取り組む。

これにより、受講生の積極的な発言や討論への参加が促され、共に教職者を目指す意識が高まり効果を上げている。さらに討議の中からは、これまで着目しなかった新たな観点からの問題提起がなされ、講義内容の充実が図られている。

特に中学校・高等学校・養護教諭志望者には、本格的なアクティブ・ラーニング型授業を学ぶための講義を設けている。

### 2. 模擬授業の充実

本学では3回生次に「総合演習」または「総合的な学習の時間の指導法(中学)」を通年で開講し、少人数にクラス分けした上で、学生ひとりひとりが模擬授業を充分に行えるようカリキュラムの工夫をしている。

また、この時間を通じて教職志望者と連絡を密に取り、適宜相談に乗りながら、教員としての資質向上が図られるよう工夫している。

### 3. 講義の評価アンケート、教員相互授業参観の実施

本学にて制度化されている、学生による授業評価アンケート実施に加え、教職課程の授業においては、毎回学生にアンケートやミニ感想文の提出を求めている。この取組により、学生の文書力向上に加え、学生の要望を取り入れ、授業の充実・改善を図っている。

また、本学では教員相互授業参観期間を設け、期間中は教職課程に限らず、全学部教員に授業を公開し、授業方法や学生指導の相互研鑽を行っている。

### 4. 他大学・機関との連携

本学は、京都市教育委員会や教職課程を開設している京都地区の国公立大学が加盟する「京都地区大学教職課程協議会」に加盟し、定期総会や各種委員会に出席している。また、全国規模の研究大会に毎年必ず出席している。この場にて、教員養成に係る最新情報を収集すると同時に、他大学と問題点や改善点を共有し、本学の教員養成に反映させている。